

見直しています！役所の仕事

— 市政改革の取り組み内容のお知らせ —

市は、市民満足度の向上のために平成18年度から「市政改革プログラム」に取り組んでいます。このプログラムは、今までの仕事の内容を見直し、より良くしていくために策定したものです。期間は平成21年度まで。今回は、平成19年度の取り組みの内容をお知らせします。

改革の5つのポイント

- 1 「財政運営の健全化」…健全な財政を確立できるように、収入を増やし、支出を減らすよう取り組んでいます。
- 2 「効率的な組織づくり」…職員を減らしながら、仕事を効率的に行える組織づくりに取り組んでいます。
- 3 「市民との協働の推進」…市民の活動と協力し、協働のまちづくりを進めています。
- 4 「仕事の透明性の向上」…市民に情報を伝え、市民の意見を反映させられるように取り組んでいます。
- 5 「行政サービスの向上」…市民が利用しやすいサービスの向上に取り組んでいます。

【財政運営の健全化に向けた目標と実績】

項目	目標	実績
経常収支比率	80%以下	88.3%・経常的経費を約5,267万円削減
実質公債費比率	18%未満	17.8%
事務事業の統廃合	10程度を削減	20事務事業を削減・経費を約1,997万円削減
市単独の経常的補助金	18年度比で21年度までに10%削減	3.9%削減、約532万円削減（18年度からの累計では11.4%削減、約1,693万円削減）
負担金	毎年度1%削減	5%削減、約228万円削減（18年度からの累計では7.2%増、288万円増）

これってどんな意味？

- 経常的経費
市が毎年度、続けて支払わなければならないお金です。人件費や市民の生活を支援するお金（児童手当など）のほか、市の借金の返済（公債費）にあてるお金などが中心となります。
- 経常収支比率
使いみちが決まっていない市のお金（一般財源）のうち、経常的経費の割合を表したものです。この数値が80%を超えると、市の財政は苦しいといわれています。
- 実質公債費比率
使いみちが決まっていない市のお金（一般財源）のうち、借金の返済にあてるお金（公債費）の割合を表したものです。この数値が高いほど、市の財政は苦しいといわれています。



新たに指定管理者を指定した観光交流センター（施設右側）

- ▽取り組みの実績
- ① 財政健全化計画を昨年4月に策定しました。
 - ② 指定管理者を新たに指定しました。
 - ③ 市有地・施設の売却などを行いました。
- 【指定施設】観光交流センター1（やませ土風館風の館）
※指定管理者を指定している施設の総数は77施設になりました。

2 効率的な組織づくり

- ▽目標
- 職員数を平成17年度の422人から、平成22年度までに385人以下にします。（37人以上を削減）
- ▽取り組みの実績
- ① 平成17年4月1日と比較して職員数を減らしました。
 - ② 仕事を効率的に行うため、組織を変更しました。
 - ③ 新規に産業開発支援担当部長、交流促進課長ほか課長ほか
 - ④ 保健推進課、介護支援課、教育振興室ほか
 - ⑤ 広域行政事務組合と広域連合を本年4月1日に統合しました。
- 【効果】統合によって1280万円の経費が削減できると見込んでいます。

3 市民との協働の推進

- ▽目標
- いろいろな分野で市民との協働を進めます。



みんなで作業。協働の必要性が高まっています

4 仕事の透明性の向上

- ▽目標
- 広く市民から意見を聞き、市政運営に反映します。
 - 広報やホームページなどを通じて市民に情報を伝えます。

5 行政サービスの向上

- ▽目標
- 窓口業務などのサービスを向上します。
- ▽取り組みの実績
- ① 転出入が混み合う時期に、臨時に窓口を開設しました。
 - ② 証明書を発行する窓口などの業務の延長を試行しました。
 - ③ 延長時間 毎週月曜日。18時30分までの1時間
- 【利用者数】延べ90人

そのほかの取り組み



よりよいサービスに向けて、利用しやすい窓口を目指しています

- ▽取り組みの実績
- よりよい仕事をするためにすべての施策と事務事業について行政評価を行いました。

これからも市は、市民満足度の向上のために取り組みを進めます。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

市政改革プログラムの詳しい内容は、市のホームページをご覧ください。最寄りの支所、公民館にも資料を備えています。

お問い合わせは政策推進課（52-2115）へ。